

先制攻撃ミサイル部隊を軸に

南西諸島ですすむ軍事化

政府・防衛省は自衛隊の先制攻撃ミサイル部隊を軸に、与那国島-石垣島-宮古島-沖縄本島-奄美大島(鹿児島)-馬毛島(鹿児島)に基地を配置、島々の軍事要塞化を進めています。

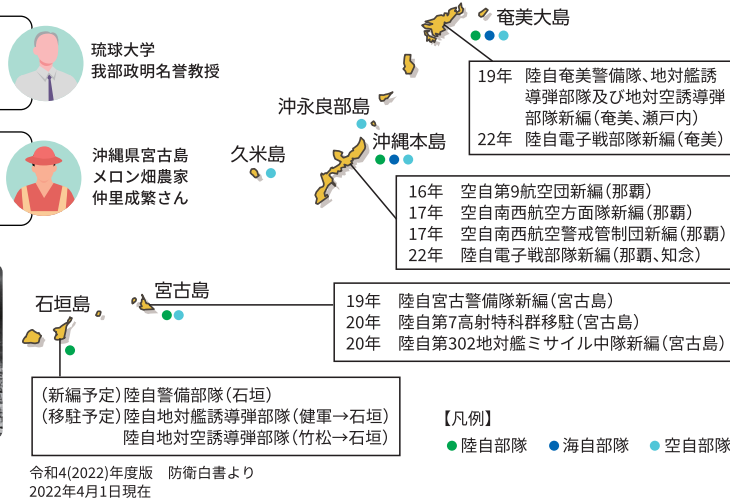
もし中国と戦争になれば軍事施設は**標的**になりかねない



日本と中国の間で戦争や紛争が起きた場合、**沖縄は最前線**になる

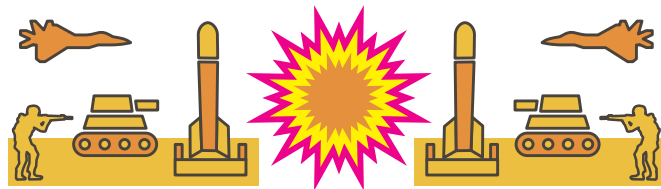


10・10空襲時の那覇港および旧那覇市街
1944年10月10日 沖縄県公文書館所蔵



抑止力のつもりが、衝突リスクを高める

自衛のためだと新兵器を導入し、米国と軍事演習をするなど軍事力だけを高めていくと、相手国から戦争をする準備かと思われ、終わりのない軍拡競争に突入してしまいます。



私たちの税金が際限なく防衛費につぎこまれる

軍備拡張をやめ、9条による安心供与で 平和のための外交を

かつて日本が侵略した周辺国に対し、日本は憲法9条で戦争放棄をしていることが安心供与となっている。集团的自衛権が行使できなかった2016年以前は、米国の戦争に付き合わされることもなかった。決して改憲を許してはいけません。

安心供与外交が、戦争を防ぐ

安心供与外交とは…

相手国の不安を払拭することによって、戦争を思いとどませ回避する外交

戦争放棄のメッセージ
憲法9条

- 中国** 1972年の日中共同声明に基づき、中国の立場を尊重すると伝えて、軍拡への自制を求める。日中4文書などの外交資産を生かした、外交交渉に立ち戻る。
- 米国** ナンシー・ペロシ下院議長など閣僚級の政治家の台湾訪問や、台湾の大使館を国として扱う等の軍事的緊張を高める挑発行為をやめるよう求める。
- 北朝鮮** 朝鮮を敵視したり、周辺で軍事演習を行わず、朝鮮半島の平和協定を一刻も早く締結し、日朝国交回復をする。2002年の日朝平壤宣言に立ち還る。

拉致・核・ミサイル問題を包括的に解決し、国交正常化の早期実現に向けて、あらゆる努力をする(2002年 日朝ピョンヤン宣言)



自民党
麻生太郎副総裁

お金をかけて防衛力を持っているだけではだめで、いざとなったら台湾防衛のために**(防衛力)を使う。戦う覚悟だ** 2023/8/8

台湾の将来の国家選択(台湾独立、中国と統一、現状維持)

半数以上が「現状維持」

台湾の民意



2020年台湾政治大学選挙研究センター